

豪ドルと米ドルの組み合わせ効果

豪ドルと米ドルの為替レート

過去の米ドル下落局面において、豪ドルは米ドルと異なる動きを示しています。

米ドル

ITバブル崩壊による影響、米大手企業の経営破綻等から、米ドルが世界的に下落

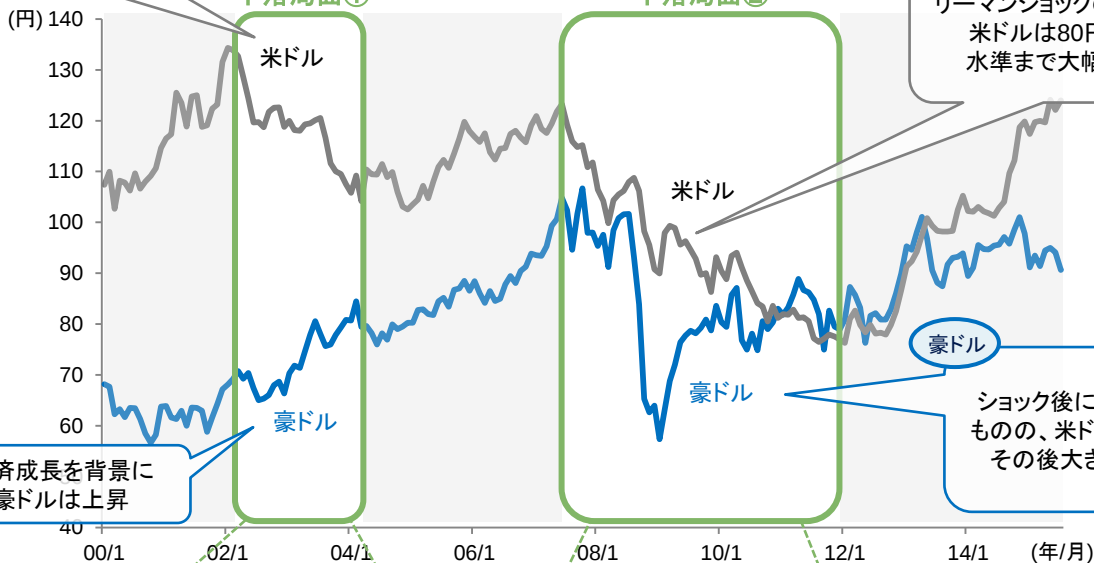
【為替レート(対円)の推移】

米ドルの
下落局面①

米ドルの
下落局面②

米ドル

リーマンショックの影響から米ドルは80円を切る水準まで大幅に下落



経済成長を背景に豪ドルは上昇

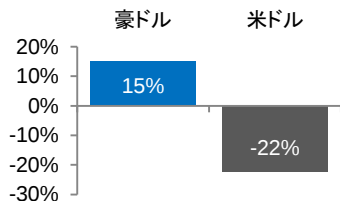
ショック後に大幅下落したものの、米ドルとは異なり、その後大きくリバウンド

米ドルの下落局面①

米ドルの下落局面②

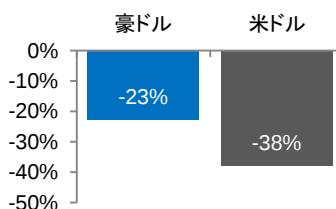
【為替レート(対円)騰落率】

米ドルとは逆に豪ドルは上昇



【為替レート(対円)騰落率】

豪ドル下落幅は軽微に留まる



米ドルと豪ドルの
組み合わせにより

**通貨の
分散効果**

が期待できます

出所: ブルームバーグ、期間: 2000年1月末～2015年7月末

米ドル下落局面①期間: 2002年2月末～2004年3月末、米ドル下落局面②期間: 2007年6月末～2012年1月末

上記は経済や市場等の過去のデータであり、将来の動向を示唆あるいは保証するものではありません。

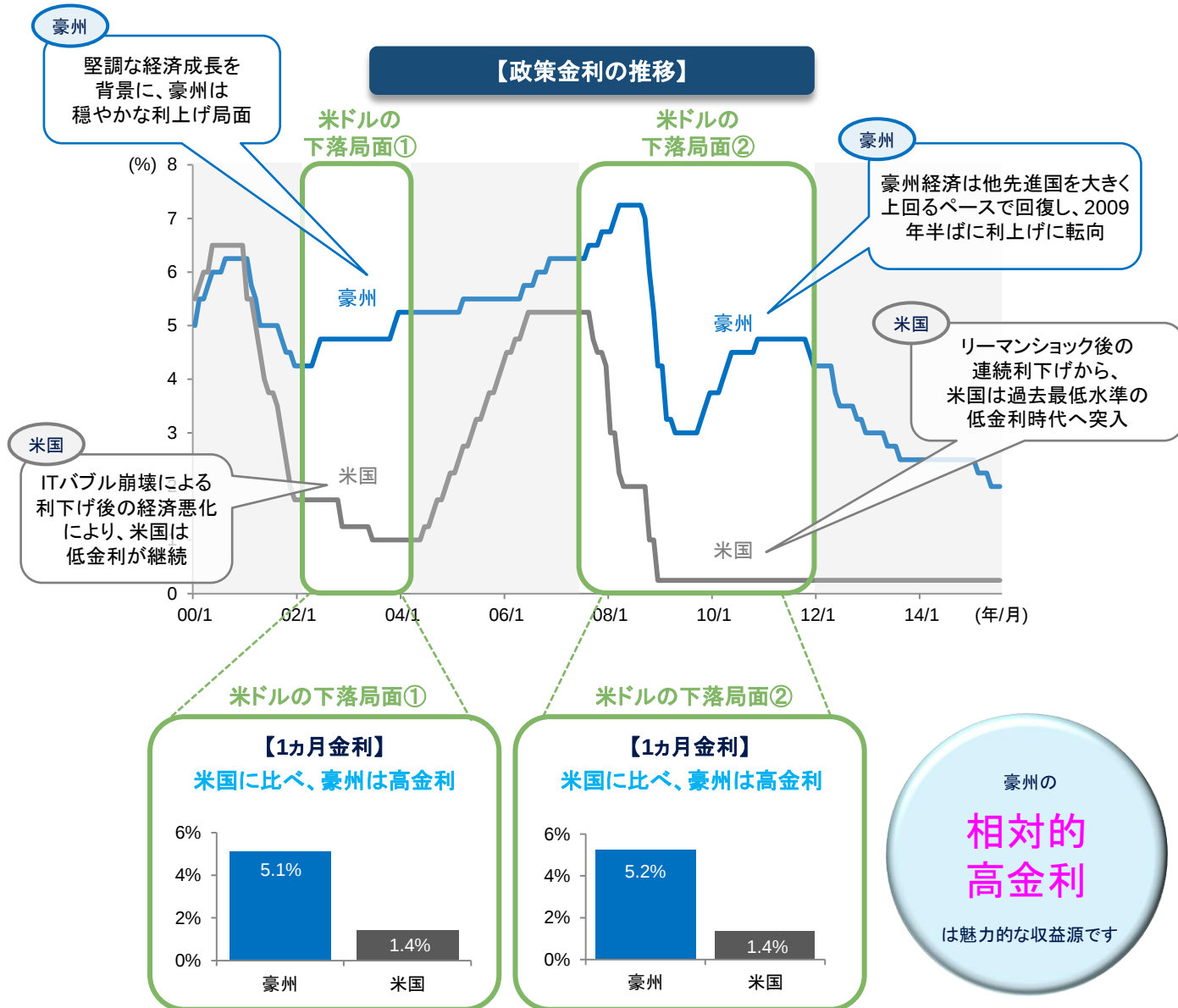
本資料は、情報提供を目的としてゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社(以下「弊社」といいます。))が作成した資料であり、特定の金融商品の推奨(有価証券の取得の勧誘)を目的とするものではありません。本資料は、弊社が信頼できると判断した情報等に基づいて作成されていますが、弊社がその正確性・完全性を保証するものではありません。本資料に記載された過去のデータは将来の動向を示唆あるいは保証するものではありません。本資料に記載された見解は情報提供を目的とするものであり、いかなる投資助言を提供するものではなく、また個別銘柄の購入・売却・保有等を推奨するものでもありません。記載された見解は資料作成時点のものであり、将来予告なしに変更する場合があります。低格付けのハイイールド証券は、価格の大きな変動性を伴い、より高い格付けの債券と比較して大きな信用リスクにさらされる可能性があります。本資料の一部または全部を、弊社の書面による事前承諾なく(I)複写、写真複写、あるいはその他のいかなる手段において複製すること、あるいは(II)再配布することを禁じます。

© 2015 Goldman Sachs. All rights reserved. <10424-OTU-49577>

豪ドルと米ドルの組み合わせ効果

豪州と米国の金利水準

豪州金利は、米国に比べ相対的に高い水準で推移しています。



出所：ブルームバーグ、期間：2000年1月末～2015年7月末

米ドル下落局面①期間：2002年2月末～2004年3月末、米ドル下落局面②期間：2007年6月末～2012年1月末

1ヵ月金利は各期間における平均値です。

上記は経済や市場等の過去のデータであり、将来の動向を示唆あるいは保証するものではありません。

本資料は、情報提供を目的としてゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社(以下「弊社」といいます。))が作成した資料であり、特定の金融商品の推奨(有価証券の取得の勧誘)を目的とするものではありません。本資料は、弊社が信頼できると判断した情報等に基づいて作成されていますが、弊社がその正確性・完全性を保証するものではありません。本資料に記載された過去のデータは将来の動向を示唆あるいは保証するものではありません。本資料に記載された見解は情報提供を目的とするものであり、いかなる投資助言を提供するものではなく、また個別銘柄の購入・売却・保有等を推奨するものでもありません。記載された見解は資料作成時点のものであり、将来予告なしに変更する場合があります。低格付けのハイイールド証券は、価格の大きな変動性を伴い、より高い格付けの債券と比較して大きな信用リスクにさらされる可能性があります。本資料の一部または全部を、弊社の書面による事前承諾なく(I)複写、写真複写、あるいはその他のいかなる手段において複製すること、あるいは(II)再配布することを禁じます。

© 2015 Goldman Sachs. All rights reserved. <10424-OTU-49577>

豪ドルと米ドルの組み合わせ効果

豪ドルと米ドルの組合せ効果の検証

米ドルに豪ドルを組み合わせるにより、効率の良い運用が期待できます。

米ドル×豪ドル組合せのポイント：

● **通貨の分散効果**

豪ドルの為替レートは米ドルと異なる動きをすることから、分散効果が期待できます。

● **豪ドルの相対的高金利**

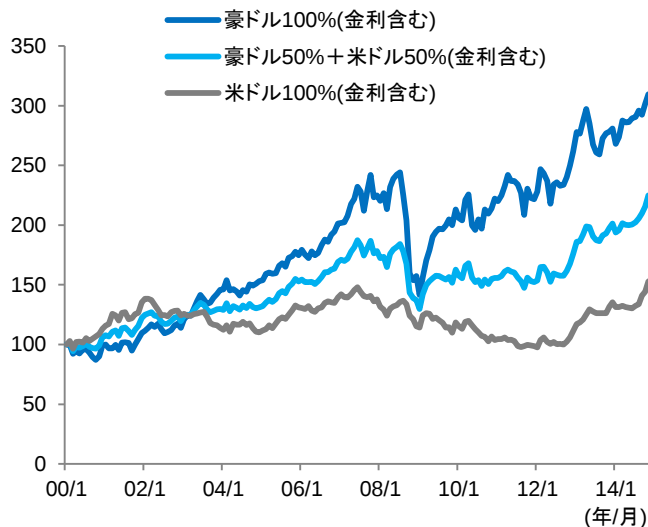
豪ドルの相対的高金利は重要な収益源泉です。

● **リスク対比リターンの向上**

米ドルに豪ドルを加えることにより、相対的高金利の享受と通貨分散効果から、リスクをさほど高めることなく、リターンの向上が期待できます。

通貨パフォーマンス(金利含む、円評価)

【通貨パフォーマンスの推移】
(金利含む、円評価)



豪ドル100%(金利含む)

リターン	リスク	リスク・リターン効率
6.9%	14.9%	0.47

米ドル50%+豪ドル50%(金利含む)

米ドル100%に比べ、
リスクを大きく高めることなく、リターンが向上

リターン	リスク	リスク・リターン効率
5.2%	10.7%	0.49

米ドル100%(金利含む)

リターン	リスク	リスク・リターン効率
3.1%	9.6%	0.32

出所：ブルームバーグ、期間：2000年1月末～2015年7月末(2000年1月末を100として指数化、月次データを使用)

各通貨パフォーマンスは、1ヵ月金利による運用(月次リバランス)であり、ブルームバーグのデータに基づきゴールドマン・サックス・アセット・マネジメントが算出。

上記は経済や市場等の過去のデータであり、将来の動向を示唆あるいは保証するものではありません。

本資料は、情報提供を目的としてゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社(以下「弊社」といいます。))が作成した資料であり、特定の金融商品の推奨(有価証券の取得の勧誘)を目的とするものではありません。本資料は、弊社が信頼できると判断した情報等に基づいて作成されていますが、弊社がその正確性・完全性を保証するものではありません。本資料に記載された過去のデータは将来の動向を示唆あるいは保証するものではありません。本資料に記載された見解は情報提供を目的とするものであり、いかなる投資助言を提供するものではなく、また個別銘柄の購入・売却・保有等を推奨するものでもありません。記載された見解は資料作成時点のものであり、将来予告なしに変更する場合があります。低格付けのハイイールド証券は、価格の大きな変動性を伴い、より高い格付けの債券と比較して大きな信用リスクにさらされる可能性があります。本資料の一部または全部を、弊社の書面による事前承諾なく(I)複写、写真複写、あるいはその他のいかなる手段において複製すること、あるいは(II)再配布することを禁じます。

© 2015 Goldman Sachs. All rights reserved. <10424-OTU-49577>